

なることは校長大原氏他出の都合と見へて親しく
面談種々婦人會の問題に就て質問談話を試みざる
は大に遺憾の事に有り候尙は當講習の詳細は規則
書御送附仕り候間宜敷願上候

●魚崎裁縫學校及魚崎尋常高等小學校大運動
會 同校にては十一月八日大運動會舉行郡役所

より友末氏出張來賓には御影師範校の諸士並に父
兄等多數之れあり候殊に師範學校よりの來賓は大
多數にして當日の花に之れあり候兼て御報導申上
げ置き候通り本縣下は先づ一体に遊戯思想相當に
發達致しかり候へば演技者は勿論見物人も非常に
熱心に終日首を長くして參觀致し居り候別紙演技
番組御送附申上候以上(十一月九日通信)

會報

幹事會

十一月廿五日後二時半より女子高等師範學校附
屬幼稚園内に於て開會せり出席者は中村主幹松村
雨森、田中、武井、和田、關、野口、下田幹事に東基
吉氏にして次回常會に付きて協議をなし左の如
く決したり

一、十二月十二日第二土曜日午後一時半華族女學
校幼稚園に於て開き、會員の忘年會を兼ねること
但し當日の會費として一人に付拾錢づゝ、概集する
こと

入會

龜町區富士見町五丁目十一番地 青江さく
龜町區富士見小學校 三島つる

和歌山縣西牟婁郡鮎川村

女子高等師範學校生徒

全

麴町區中六番町十番地

神戸市奥平野村三四七

改姓

轉居

和歌山市北仲間町三番地へ

字都宮市堀田町一七七へ

高知縣師範學校へ

香川縣仲多度郡善通寺町花藏院内六二三

淺草區東三筋町五八へ

和歌山縣海草郡宮村秋月

右山下つや紹介

寺本又齋

船本やすえ

石津まつよ

村田きぬ

右安東てい紹介

湯河さだ

右大橋いぬ紹介

高野わさ

右池田その紹介

小笠原茂穂

改選佐

中島雪枝

藤澤卓月

松岡久すや

勝田暢子

大山千代

黒田織衛

自明治三十六年十一月二十二日會費領收

六〇

至同年十一月二十四日

三六、一一—三七、四

奥野まさ

一〇〇

三六、八—三六、一一

井口よね

三五、五—三六、五

關しん

六〇

三六、一〇—三七、三

堀越源次郎

大友のぶ

中島雪枝

御厨守忠

尾崎勝己

三宅民枝

山高幾之丞

藤堂忠次郎

島蘭つね

山田かめ

小澤さき

小田しる

富田八千代

伊藤とよ

太田ため

馬場たき

伊庭なつ

野村ぎん

岡田折枝

森乙女

下瀬たつ

吉澤とも

三〇	三〇	三〇	五〇	四〇	三〇	五〇	八〇	三〇	一〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
三六、六——三六、八	三六、六——三六、八	三六、六——三六、八	三六、八——三六、一一	三六、九——三六、一二	三六、二——三七、一	三六、九——三七、一	三六、五——三六、一二	三六、一〇——三六、一二	三六、九	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、九——三六、一二	三六、四——三七、一	三六、四——三七、一	三六、九——三七、八	三六、九——三七、八

有賀	篠原	鷺森	柴田	村川	外山	岡澤	小泉	小笠原	林	高水	武井	松岡	平瀬	重田	野秋	橋本	坂井	寺本	依岡	岡田	島	滿岡
貞	しき	よしえ	かつ	あい	茂	やへ	千代	しげほ	千代	うめ	とめ	さち	さだ	ふじ	きよ	たへ	みどり	又齋	あい	みつ	つね	まよ

二〇	二〇	三〇	四〇	六〇	四〇	三〇	五〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇	三〇
三六、九——三六、一〇	三六、九——三六、一〇	三六、八——三六、一〇	三六、七——三六、一〇	三六、五——三六、一〇	三六、七——三六、一〇	三六、八——三六、一〇	三六、六——三六、一〇	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、一一	三六、九——三六、一二	三六、六——三六、八	三六、六——三六、八

小谷	野尻	前田	永田	神通	佐藤	岡田	佐々	柏木	平川	木村	安東	安藤	藤谷	藤岡	益田	内田	奈良	根本	加藤	岩田	小島	山田
野千代	てつ	拾松	けい	せき	みさほ	ちよ	くさ	ふさ	よし	とら	てい	さだ	いわ	とき	一枝	たね	あい	まさえ	きつ	ゆき	はま	熊之進

二〇 三六、九—三六、一〇
 六〇 三六、五—三六、二〇
 六〇 三六、五—三六、一〇
 四〇 三六、四—三六、一〇
 三〇 三六、八—三六、一〇
 九〇 三六、二—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 二〇 三六、九—三六、一〇
 七〇 三六、四—三六、一〇
 二五〇 三四、一〇—三六、一〇
 七〇 三六、四—三六、一〇
 六〇 三六、五—三六、一〇
 二〇 三六、一〇—三六、一一
 一九〇 三五、四—三六、一〇
 一九〇 三五、四—三六、一〇
 一三〇 三五、一〇—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 二〇 三六、九—三六、一〇
 一〇〇 三六、一—三六、一〇
 一一〇 三五、一—三六、一〇
 一九〇 三五、四—三六、一〇

江藤みほ
 廣瀬みつ
 築山督清
 妹尾明
 眞しけ
 山崎彦八
 伊藤貞勝
 佐久間えね
 永田らく
 佐々木まさみ
 田村壽美
 水口みつ
 土川五郎
 岡本ちか
 三好すず
 高橋しげ
 田中かま
 爪生しげ
 金子きた
 小谷野かね
 小出賢吉
 龜岡のぶ
 大和田りょう

四〇 三六、七—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 一六〇 三五、七—三六、一〇
 一五〇 三五、八—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 八〇 三六、三—三六、一〇
 二〇 三六、九—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 一四〇 三五、九—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 九〇 三六、二—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 二〇 三六、九—三六、一〇
 三四〇 三四、一—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 一九〇 三五、四—三六、一〇
 五〇 三六、六—三六、一〇
 四〇 三六、七—三六、一〇
 五〇 三六、六—三六、一〇
 三〇 三六、八—三六、一〇
 九〇 三六、二—三六、一〇
 一六〇 三五、七—三六、一〇
 六〇 三六、五—三六、一〇

深江とき
 山田やを
 川島莊一郎
 近木とし
 野澤あい
 寺尾きく
 伊藤 眞
 北村きた
 星 つね
 柳井 つる
 玉尾こま
 上遠野あい
 加納てる
 榊山つわ
 淺井はつ
 安藤ゆき
 藤村いと
 古市 幸
 佐藤 梅
 大竹みさほ
 前野とき
 羽田ゆき
 橋本はな

三二〇 三三、四—三六、一〇
 三〇〇 三六、八—三六、一〇
 四〇〇 三六、七—三六、一〇
 六〇〇 三六、五—三六、一〇
 五〇〇 三六、六—三六、一〇
 一三〇〇 三五、一〇—三六、一〇
 五〇〇 三五、一〇—三六、二
 五〇〇 三六、一〇—三七、二
 一〇〇 三六、一一
 一〇〇 三六、一一
 一〇〇 三六、一一
 一〇〇 三六、一一
 一〇〇 三六、六—三七、三
 一二〇〇 三七、一—三七、三
 六〇〇 三七、一—三七、六

廣 告

福井梧老と本會とは一切關係無之候
 に付き茲に廣告致し候

乙竹岩 造
 印東かめ
 今井つな
 永田かい
 山田梅
 長與のぶ
 松山はま
 福田米
 石澤まつよ
 船木やすね
 村田きぬ
 佐藤壽鑑
 山岡てる
 太田とめ

市内會員諸君の會費は自今東京集金
 社に依託致し候間同集金人參上の節
 は無御懸念御渡し下され度く候

明治三十六年十二月

フレール會

會計係